

令和 8 年度 第 2 回開平小学校ラウンドテーブル 議事要旨

- 1 日 時 令和 8 年 7 月 9 日（木）19 時 00 分～20 時 00 分
- 2 場 所 中央区役所 7 階会議室
- 3 出席者
 - ・ 委員（50 音順・敬称略）
大重開実会会長、清水はぐくみネット代表、永山 P T A 会長、松田子ども会会長、
保岡学校協議会会長
 - ・ 行政関係
（中央区役所）
松田区担当教育次長、上野山区教育担当次長、覺野市民活動支援・教育担当課長
（教育委員会）國方指導部次席指導主事、大佐古総務部施設整備課長代理
（学校園）岩本開平小学校長
 - ・ 司会：中西市民活動支援・教育担当課長代理
- 4 傍聴者 なし
- 5 次 第
 - （1）区担当教育次長あいさつ
 - （2）委員紹介および座長の選任について
 - （3）経過
 - ・ ラウンドテーブルの位置づけ
 - ・ これまでに頂いた主なご意見について
 - ・ 開平小学校の現況について
 - ・ 情報共有
 - （4）意見交換
 - ・ 在校生及び新入生の就学校調整方法について
 - ・ （仮称）新設校準備委員会のメンバーについて
 - （5）その他
- 6 議事要旨
 - （1） 区担当教育次長あいさつ
会議参加へのお礼、中央区の教育環境の現状、会議開催の趣旨について述べた。
 - （2） 委員の紹介および座長の選任について
委員紹介の後、委員の互選により、座長に保岡氏、副座長に永山氏を選任した。

(3) 経過

司会より、当ラウンドテーブルの位置づけと設置目的、これまでに頂いた主なご意見および開平小学校の現況について、次第に基づき説明のうえ情報共有を行った。

(4) 意見交換

事務局より、資料に基づき在校生及び新入生の就学校調整方法ならびに（仮称）新設校準備委員会のメンバー案について制度設計案を示し、意見交換を行った。

【主な意見】

（在校生及び新入生の就学校調整方法について）

- ・校区内居住者が「開平校区全体から選択できる」という前提が継続しているか確認したい。あわせて、開平以外の地域をどこまで対象とするか明確化が必要。
- ・新設校に希望が集中すると児童数の偏りが生じ得るため、必要に応じて条例改正の可能性も含め、早期に調整策の検討を進めるべき。
- ・中央大通り等で分ける方法は分かりやすい一方、居住地で分けると選択できなくなる課題がある。新設校は遠方からの希望も想定され調整が難しい。抽選には違和感がある。
- ・校区の分け方はルールとして整理し、急な変更は避け、中長期的に最終形を示して周知することで混乱を抑えるべき。暫定期間を設けつつ最終形へ移行する案もある。
- ・通学距離や通学路の安全性を重視すべき。また、教育内容・設備も選択基準になり得るため、距離だけでなく教育面の特色も加味して検討してほしい。

（（仮称）新設校準備委員会のメンバーについて）

- ・示されたメンバー数（7名）が委員会全体なのか公募枠なのかを明確にしてほしい。委員会の位置づけ・役割・権限も明確化が必要。
- ・開平地域での議論の経緯を知る人を委員に入れるべきであり、公募だけでなく地域の人をどう組み込むか調整してほしい。
- ・認識のずれが残らないよう、南側地域との合同の話し合いの場を早期に設けるべき。対立し得る論点が出る前に擦り合わせが必要。
- ・新設校を「中央区全体の学校」とするのか、「開平校区の収容課題への対応校」とするのかで、公募方法等も変わるため先に方針を決めるべき。
- ・公募数が7名で十分か、そもそも集まるかを含め検討が必要。応募者の選定方法（先着／抽選／推薦等）や、応募が少ない場合の扱いも示してほしい。

(5) その他

南中学校・南小学校・高津小学校ラウンドテーブルと合同での会議開催に向け、今後調整を進めていくことを確認した。